

竹工房オンセの工房通信

竹工房オンセ

工房オンセは別府市より車で30分ほど入った山里にあります。回りは緑に囲まれ、自然の恵みがいっぱいの中で手作りの伝統工芸品である、ハンドバッグや花籠、盛り皿、ランプ等の作品作りに精を出している職人集団です。大分県は日本一の真竹の生産地です、伸びが良く柔らかい真竹は竹工芸品に適しており、特に細かい細工と強度を要求されるハンドバッグには欠かせないものです。工房オンセの作品には私の名前の雅人から一文字取った、「雅」の銘を彫っています。これは真竹で編んだ国産手作りの作品である証です。現在、全国の有名デパートやギャラリー等で展示会を開催し、たくさんの方々にご愛顧いただいています。また今年も皆様のお近くで展示会を開催しました時はお気軽にお立ち寄り下さい。

展示会にて出会った思い出

2002年も沢山の素敵な方に会いました。ある催事で何気なく私の実演を見ていた方ですが、若い頃のことや、亡くなられた御主人と一緒に訪れた別府の思い出などを話してくれました。きっとこの方は私のバッグに御主人の思い出を詰めて使うんだろうなと。

また、40歳くらいの男性が興味深くバッグを見ていたのですが、男性が一人で見ているのは珍しいので、「奥様にプレゼントですか？」と声を掛けてみました。「はい、そうです」(幸せな奥さんだなー)。話している内に「実は家内が癌と言われていたのですが、今日癌じゃなかったとわかりました。嬉しくて何かプレゼントしたいと思い、探している内にここのバッグに引き寄せられたのです」何だか聞いているうちにこちらまで嬉しく振るえるような思いがしました。この奥様も私のバッグを使う度に、今日の出来事を一生思い出すのだろうなと。

またある時は「今年、定年で退職したのですが、35年間自分なりに本当に頑張りました。めったに衝動買いはしないのですが、そんな自分へのご褒美に本物が欲しくて」と買って下さいました。

この様な多くの方々の気持ちにこたえるためにも、精一杯良い作品を正直に丁寧に作っていかなくてはと改めて思います。



竹工房オンセ 高江 雅人

takae@cronos.ocn.ne.jp

この度、保証書を作りました

自分の作品には責任を持って作品作りをしていきたいという姿勢でやってきました。今までは口頭で「いつまでも修理いたします」とお答えしてきたのですが、お客様により一層安心して頂く為に保証書を作りました。これまでお買い上げ頂いたお客様には 当方にお買い上げリストが残っておりますので、今後とも何か修理などございましたらご連絡なく申し付け下さい。

NO.2 2003 新春発行

いよいよ海外で展示会をする様になりました

初めての展示会をパリの東部にあるレ・ビュブリック広場の近くにあるエスパス・ジャポンにて開催しました。お客様はパリ在住の日系の方が多く、私たちの作品を見て故郷日本を思い起こすのでしょうか、とても熱心に見てくれました。また、パリでの展示期間中にドイツまで足を伸ばしました。ドイツへの目的はシーボルト博物館の下見です。実は、私が京都のデパートで実演をしているときに知り合った方ですが、私の作品に非常に興味を持ってくださり、熱心にいろんなことを聞いていかれた方がいました。後日判ったのですが大変な親日家でシーボルト博物館の理事をされている方でした。その方の招待で行くことになったのです。シーボルト博物館は地上3階、地下1階には日本庭園と茶室もあるというすばらしい建物です。博物館前には広大なスペースと美術系の文化施設が建ち、全体がゆったりとした空間を作り出していました。今年の11/13から23まで、ドイツのシーボルト博物館で展示会をする事になりました。

デパート催事ご案内

★ 浜松遠鉄百貨店	1/15~1/21	★ 名古屋松坂屋	1/29~2/4
★ 新宿伊勢丹	2/26~3/3	★ 京都伊勢丹	4/16~4/21
★ 上木町近鉄	5/1~5/7	★ 三越日本橋本店	5/17,18
★ 札幌大丸	6/4~6/10	★ 静岡松坂屋	7/3~7/9
★ 名古屋松坂屋	7/16~7/21	★ 浦和伊勢丹	7/24~7/29
★ 相模原伊勢丹	7/30~8/5	★ 新宿伊勢丹	8/13~8/19

お近くの方は是非、お立ち寄り下さい。

雅人の一言

- 昨年の3月に初めて人生の師である平沢さんご夫妻が我家にやってきました。私が18年前にサラリーマンを退職して、まず目指したのが自給できる農業への道でした。その時半年ほど、長野県の伊那谷で有機農業をされていた平沢農園に住み込みで農業の勉強をさせていただきました。その後、私は竹工芸へと道を変えてしまいましたが、いまだに人生の節目節目にお世話になっている方です。今の私達の生活風景を見て喜んでいたのが、とても嬉しかったです。
- あらゆる産業が労働力の安い海外に流れて言っていますが、私たち竹業界でも海外製品を国産品と偽って販売している業者をよく見受けまます。決して海外製品が悪いと言っているのではありません。産地をはっきりさせて販売するのなら問題ないのですが、国産品と偽って販売することにはどうしても納得がいかない今日この頃です。